孫水義經一代主紀

五

教育
726
K

10367

教科書文庫

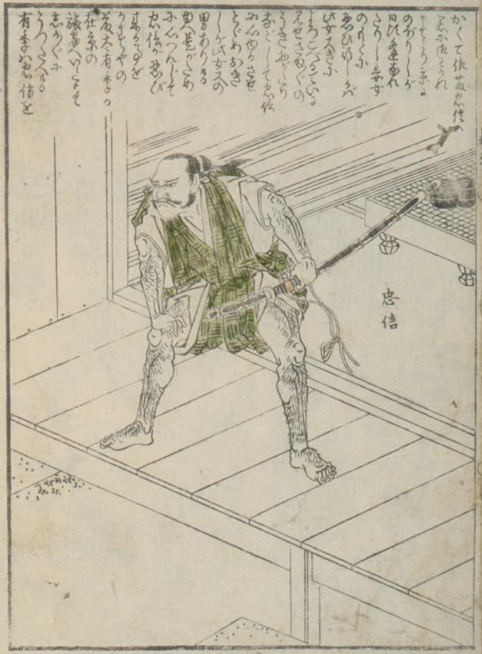
1
801
10-1787
200030
2604

1787
天明7

教育学科

廣島大學圖書之印

廣島大学
教
48609
図書



かくて伊藤五右衛門
忠信をうちとりぬ
ときこそ
のがれしが
日比五郎あれ
さうし三郎
のがれふ
あひがふ
ひがふ
しろこさ
えせさあ
うきあ
おこ
ふん
とくわ
しんせ
男わり
ふくつ
忠信
あひ
うもと
若太有まう
仕系の
被夢へ
まうく
有まう忠信を

射とり孫愛
その名を
ひやうさへ
弱き者を
ばしてこそ
まちうけ
りとる押ちう
忠信
板橋の上る
其愛を
拾とて
伏屋をきりし
ぜアをきくこそ
もまろくく
ちきてそ
見をうりもの金
ぜさへ打れい
雖五三打とろ
されさりされ
もめさすき
ねさてきして
今ねとれすそして
すうす女ぶふ
ひき切り
死とりなぞ
いさうしき

弁慶
義經

弁慶頭

義經
秀衡
泰衡
国衡
忠衡
高衡
道衡

ある時義経
夜ちうと
来ゆて夜
うしこ拵覚
しるひ見る
まゐり向の
山きいかあや。
しきに自軌
立り出上に
人あるて
こゝあるを
拵り出人へ
あやしみ
評議しるに
無しいひ
りいこあるを
さして拵を
むてゝ入さ
ら人もおくし
こりむて
見極へし
とて海存と兵
二人にて小舟
こきよせ
見れば其
人のかしら
岸にあらず
異人十れ

あんちらう
ゑ人の義経に
これとあるに
とて雷の中
より魚肉の
ことをいふ一切
を出し仕ふ
おもあるあり
そとて一切つて
あるへ見ることを
美あり いかあり
あるやく向れい
人男共生の
くまりあり
二人へいくおしや
してしりる
異人もおきしや
ゆ美ふりあり拵へ
しり義経へ
しくらいを
うくりしの。
肉とおもり
りうとを

城内さらまち
岩と城まる扨
衣川の一の橋まへ
無業立
なりうさひこと
ゑへしかをうり
ふれいまゝ
人形なりまゝ
城中火もつまり
てうけへなれい
ゆのうさぎ君
まで自害しまふ
祢ハ行人まそら
ありけんまゝ
東首とおそ
うよくゝへなりて
後ゆをひくる
る鉄の城中ま
へて明け
穴ゆいこれい
ましつゝ
朝臣ニ良なまゝ
いさんまて
こゝくゝ
夫雖の亦
まちして

おいしまし
さりやすひく
はん宇ようとひて
いなさぎこふかとり
のりはる秀衡を
ゆいれいを
後衡の家門を
あつせりをれより
義理なきくゝ
忍を思へおし
ようとりて
西王となり
百余歳の
長壽を
さもちまふ
今も尚ま
神灵を
義經大明神
とあがめをりて
あるそ
めでさられ

千廿一騎之圖
鎌田藤治光政
黒井治郎景久
赤井二藤太景俊
亀井六郎重清
熊井太郎忠基
宇岡八郎弘常
鎌田藤太盛政
江田源三弘基
武藏坊弁慶
源八兵衛弘綱
佐藤三郎兵衛嗣信

義經之家人一騎當
増尾十郎兼房
鷲尾三郎義久
備前十四郎成春
堀彌太郎景光
御厩喜三太
伊勢三郎義盛
常陸坊海存
佐藤四郎兵衛忠信
駿河治郎清重
鈴木三郎重家

江都縱畫生　旭朗井勝春章圖

繪本伊藤傳記　全部五册　同筆　追而板行

繪本威德天神記　五册　同筆　追々出板

天明七年歳次丁未春

板元
通油町　鶴屋喜右衛門